

## 令和4年度司文庫基金運営委員会 会議要録

■開催日時 令和4年11月16日(水) 午後3時～3時40分

■開催場所 中央図書館 3階 第2・3会議室

■出席委員(4名)

金田文子委員、鈴木立子委員、高須博久委員、秦 正子委員

■事務局(7名)

(美術博物館) 小林館長

(図書館) 齋藤館長、岩瀬主幹、津滝補佐、佐藤補佐、  
永井主査、遠藤主査

■議事概要

1. 開会
2. 館長あいさつ
3. 議題
  - (1) 委員長、副委員長の選出について
  - (2) 令和3年度事業報告について
  - (3) 令和4年度事業について
  - (4) その他

■発言要旨

(事務局)

正副委員長が決まるまで、事務局が議事を進める。

<図書館長あいさつ>

<委員及び職員各自自己紹介>

(事務局)

豊橋市司文庫基金運営委員会要綱第5条第1項(委員の互選による委員長及び副委員長を置く)に基づき、正副委員長の選出をお願いしたい。

(委員)

委員長に金田委員を、副委員長に高須委員を推薦する。

<全員異議なし>

(事務局)

令和4年度豊橋市司文庫基金運営委員会の委員長を金田文子委員に、副委員長を高須博久委員に決定した。議題(2)以降の進行は、委員長にお願いする。

(委員長)

議題（２）の「令和３年度事業報告」と司文庫の経緯について、事務局に説明をお願いします。

<事務局が、資料に沿って説明>

(委員長)

質問はございますか。 質問なし。

次に議題（３）の「令和４年度事業」について説明をお願いします。

<事務局が、資料に沿って説明>

(委員長)

質問はございますか。 質問なし。

他に、意見等ありますか。

(委員)

４年前から、豊橋市の事業の「トヨッキースクール」などで、富士見校区市民館などで英語絵本の読み聞かせをしている。低学年の読み聞かせで利用できるような、洋書絵本が司文庫に欲しい。

(委員)

英語教育より前の段階の本も必要。学校へ貸出できれば、活用の方が広がる。学校で、一層広く司文庫を知っていただく機会があるといいと思うがどうか。

(委員)

学校では、図書館担当の教諭は司文庫を知っていても、それを学校内に周知していないのではないかと。現在の特別貸出の方法では、学校は利用しにくい。学校貸出のように、直接学校へ送ってもらうゆうパックが利用できるとよい。学校への周知も、小学校だけでなく中学校へも広げてほしい。

(委員)

司忠さんは、これからは世界へ目を向けるようにと望んでいたのではないかと。また、読み聞かせに音楽を取り入れてはどうか。歌や楽譜などの本をそろえるのもよいと思う。

(委員)

子どもたちは、歌や踊りに反応がいい。英語絵本の読み聞かせは、遊び感覚で行っている。

(事務局)

司文庫の特別貸出について、貸出・返却の方法など検討する。司忠さんの遺志を尊重しつつ、幅広い年代で利用していただけるような資料を購入していきたい。

(委員長)

以上で、司文庫基金運営委員会を終わります。ありがとうございました。